

令和6年3月5日

保護者の皆様

三庄小学校長 大櫛 秀明

### 三庄小学校「学校評価アンケート」集計結果について

日頃は、本校教育の推進にご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、2月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果をふまえ、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後ともご協力よろしくお願いたします。

#### 考察について

アンケートは、A「よくあてはまる」 B「だいたいあてはまる」 C「あまりあてはまらない」 D「まったくあてはまらない」の4段階で評価していただきました。今回、A「よくあてはまる」と、D「まったくあてはまらない」に着目し、昨年度との比較より考察を行いました。

なお、□：保護者アンケート、◇：児童アンケート、○：今後の予定等とし、数値は四捨五入して表記しています。

#### 重点目標①「基礎基本の徹底」と「確かな学力」の育成

A、Bの合計は、児童84%、保護者95%であるが、Aの割合は、児童-11%、保護者-9%である。また、児童、保護者ともに、全ての項目において、Aの割合が減っていることから、今後も研修に努め学力向上のための実践を継続する必要がある。

##### □学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。

A：保護者 -14%

◇授業は楽しく、勉強の内容がわかる。A：児童-19%

◇授業中、自分の考えを発表している。A：児童-15% D：児童+9%

◇授業中、先生や友達の話をよく聞くことができている。A：児童-11% D：児童+1%

##### □学校は、読書（音読）やNIE（新聞学習）などを計画的に推進している。

A：保護者 -4%

◇進んで読書（音読）をしている。A：児童-11%。

◇新聞を読んだり、新聞を使って勉強したりすることは楽しいと感じている。

A：児童-14% D：児童+7%

##### □学校は、計画的に家庭学習を推進している。

A：保護者 -8%

◇宿題は、必ずしている。A：児童-3%

○教員が授業力を向上させ、楽しい授業の実現、個に応じた学習指導の充実、ICTのさらなる活用と、魅力のある授業を展開することが、子どもの積極的な授業参加につながると考える。また、授業中にペアやグループで対話する時間を確保し、子どもが自分の考えを発表する機会を設けることで、子どもが自信をもって発表することにもつながると考える。

○新聞を使った授業を工夫し子どもに活字の大切さと楽しさを伝えていく必要がある。また、活字に親しみがもてるような指導を行っていくことも必要である。例えば、日課に「読書タイム」を設ける、新聞の感想を書く機会を設ける、新聞記事をスピーチの材料にすることが考えられる。

○ドリルやプリントに限らず、子どもが自ら課題を設定して取り組む内容、ICTを活用した音読といった宿題の工夫や、家庭学習の習慣確立に向けた取組を家庭と連携しながら行う必要がある。

## 重点目標②活力ある子どもの育成

A、Bの合計は、児童90%、保護者95%であり、Aの割合も若干ではあるが増えている。しかし、Aの割合が減っている項目もあり、今後の取組を考える必要がある。

□学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。

A：保護者 - 2%

◇学校で体を動かすことに進んで取り組んでいる。A：児童+2%

□学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心を持った子どもを育てている。

A：保護者 - 2%

□学校は、人権学習・道徳学習をとおして、規範意識や思いやりの心を持った子どもを育てている。 A：保護者+5%

◇自分には良いところがある。A：児童+2% D：児童+1%

- 遊びチャレンジ週間による外遊び奨励等の取組が結果に反映していると考えられる。また、2月には、三庄キッズ（縦割り班）で長縄集会に向けての練習を休み時間に実施した。今後も子どもの体力向上を目標として、計画的かつ継続的な実践を工夫して進めていかなければいけない。
- 子どもの豊かな心を育むには校外学習や体験活動は不可欠である。今後も学習内容との関連や目的を明確にして校外学習や体験活動を展開し、子どもの学びを深め、豊かな人間性を形成していくようにしたい。
- ポジティブな行動支援（あったかことば・ほめること）によって、自信や意欲をもって努力し続ける子どもの育成を目指し、様々な活動に取り組んできた成果の一つであると考えている。今後も、自尊感情や自己肯定感を高めることを最重点目標として継続することが必要である。

## 重点目標③人間関係が築ける子どもの育成

A、Bの合計は、児童91%、保護者87%であり、おおむね目標を達成できたと考えられる。さらなる向上に向けて、今後の取組を考える必要はある。

□学校は、子どものまちがった言動や行動について指導していることを保護者に伝え、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

A：保護者+1% D：保護者+1%

◇学校は、楽しい行事や集会があり、いろいろなことを体験できている。A：児童-6%

◇友達となかよくしている。A：児童+4%

◇困っている友達がいたら、声をかけたり助けたりしている。A：児童±0%

□学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応していることを保護者に伝えている。

A：保護者 - 5%

◇困ったことやなやみごとがあれば、先生に相談できる。A：児童-2%

- 子どもがお互いのよさを認め合い、励まし合いながら学びを深めていくことや、子どもと教職員との望ましい信頼関係を構築していくことを目標に取り組みを進めてきた。今後も普段の学校生活はもちろん、三庄キッズ（縦割り班）での活動、行事や集会を通して、仲間づくり、人間関係づくりを目指した取組をしっかりと進めていきたい。
- 今後も子どもに寄り添い、子どもの声をしっかりと聴くことを続けていきたい。また、子どもの人間関係をよく見つめ、適切な対応を心がけながら、家庭との連絡も密にし、互いの信頼を高めていきたい。また、今年度は担任以外の教職員が給食指導にあたる「シャッフル給食」を試験的に実施した。教職員は、担任する学年、学級以外の子どもを知る機会となり、子どもは担任以外の教職員を知る機会になった。このような取組を行うことで、子どもと教職員の心理的距離が縮まると考える。

#### 重点目標④「コミュニティ・スクール」「幼小中一貫教育」の推進

A、Bの合計は、児童93%、保護者91%であり、目標を達成できたと考えられる。しかし、Aの割合は、児童7%。保護者6%であり、今後の取組を考える必要がある。

□学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。

A：保護者 - 7% D：保護者 + 1%

◇学校は、楽しい行事や集会があり、いろいろなことを体験できている。A：児童7%

□学校は、配布物やホームページをとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。 A：保護者 - 4%

○現在、保護者・地域と連携した活動は、学年により実施回数に差がある。各学年の学習内容等に応じ、保護者や地域と連携した活動を今後も計画・実施し、子どもが教職員以外の方から学ぶ機会や、ともに活動する機会を設けたい。

○校長室便り、学年通信、ホームページを通して、学校での活動等を発信してきた。しかし、ホームページの更新頻度が少なかったことは、ご指摘いただいたとおりである。今後は、更新頻度を上げるための校内体制を整え、学校の様子を伝えていきたいと考えている。

#### 重点目標⑤安全・安心・居心地のよい学校づくりを推進する

A、Bの合計は、保護者95%であり、おおむね目標を達成できたと考えられる。しかし、さらなる向上をめざし、改善や取組の再考を行う必要がある。

□校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。 A：保護者 - 4%

□学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができている。 A：保護者 - 6%

□学校は、各家庭や児童のプライバシーの保持ができている。 A：保護者 + 9%

○個人情報の保護や守秘義務等を遵守した上で、学校と家庭・地域等との連携は不可欠である。安全・安心・居心地のよい学校づくりに向けて、日頃から家庭・地域等との情報交換や情報共有が欠かせない。また、災害時には学校が避難所となり、避難所と学校の両方を運営することになる。学校の力だけでは限界があるため、家庭・地域等の力が必要になる。そのためにも、普段から協力体制を構築する必要がある。

#### 重点目標⑥家庭との連携等

A、Bの合計は、保護者95%であった。全ての項目においてAの割合が増えているが、どの項目も50%に満たない状況であり、課題が残る。

□授業参観の時期・回数は適切である。

A：保護者 + 16%

□学校の掲示は、学習の取り組みがよく表れるよう工夫されている。

A：保護者 + 8%

□学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。

A：保護者 + 6%

□学校が保護者等に出す文書・事務連絡は、適切である。

A：保護者 + 6%

○本校は、学校と家庭・地域が協働し、子どもの成長を支援するコミュニティ・スクールである。子どものよりよい成長のために、学校と家庭・地域が信頼関係を築き、深めていくことで、魅力ある教育活動が展開できるように努力していかなければならない。

○文書配布について、「メール配信がありがたい」とのご意見をいただいた。紙媒体での配布以外にも、マチコミメールに添付することも検討する。

# 令和5年度 学校評価アンケート（児童）結果

## 今年度学校重点目標

	A	B	C	D
① 「基礎基本の徹底」と「確かな学力」の育成を図る	50.3%	33.7%	11.4%	4.6%
② 元気な子どもに育てる	63.7%	26.4%	7.4%	2.5%
③ 人間関係が築ける子どもに育てる	63.5%	27.3%	7.3%	2.0%
④ 「コミュニティ・スクール」「幼小中連携・一貫教育」を推進する	62.4%	30.5%	5.0%	2.1%

A・・・よくあてはまる

B・・・だいたいあてはまる

C・・・あまりあてはまらない

D・・・まったくあてはまらない

アンケート回収

141名

視点	目標	アンケート内容	評価			
			A	B	C	D
学力・学習習慣	①	授業は楽しく、勉強の内容がわかる。	40.4	49.6	8.5	1.4
	①	授業中、自分の考えを発表している。	35.5	31.9	23.4	9.2
	①	授業中、先生や友達の話をよく聞くことができる。	55.3	40.4	2.8	1.4
	①	朝のスキル学習、放課後のステップアップ学習に真剣に取り組んでいる。	59.6	33.3	7.1	0.0
	①	進んで読書（音読）をしている。	52.5	31.9	12.1	3.5
	①	新聞を読んだり、新聞を使って勉強したりすることは楽しいと感じている。	29.1	31.2	24.1	15.6
	①	宿題は、必ずしている。	79.4	17.7	2.1	0.7
元気な子ども	②	自分から進んであいさつしている。	61.0	31.9	6.4	0.7
	②	友達と協力してそうじや当番の仕事をしている。	77.3	20.6	1.4	0.7
	②	学校で体を動かすことに進んで取り組んでいる。	68.8	19.9	8.5	2.8
	②	自分には良いところがある。	47.5	33.3	13.5	5.7
人間関係	③	学校は、楽しい行事や集会があり、いろいろなことを体験できている。	67.4	27.0	5.0	0.7
	③	友達となかよくしている。	82.3	17.0	0.7	0.0
	③	困っている友達がいたら、声をかけたり助けたりしている。	63.1	31.9	3.5	1.4
	③	困ったことやなやみごとがあれば、先生に相談できる。	41.1	33.3	19.9	5.7
連携	④	地域の人や幼稚園、中学校の先生が来てくれて、いろいろなことを教えてくれるのは楽しいと感じている。	62.4	30.5	5.0	2.1

# 令和5年度学校評価アンケート（保護者）結果

## 今年度学校重点目標

	A	B	C	D
① 「基礎基本の徹底」と「確かな学力」の育成を図る	29.3%	65.6%	4.8%	0.4%
② 元気な子どもに育てる	34.1%	60.4%	4.8%	0.7%
③ 人間関係が築ける子どもに育てる	32.8%	53.9%	12.2%	1.1%
④ 「コミュニティ・スクール」「幼小中連携・一貫教育」を推進する	28.3%	62.2%	8.9%	0.6%
⑤ 安全・安心・居心地のよい学校づくりを推進する	36.7%	58.9%	4.1%	0.4%
⑥ 上記以外の家庭との連携等	41.4%	53.3%	4.7%	0.6%

A・・・よくあてはまる

B・・・だいたいあてはまる

C・・・あまりあてはまらない

D・・・まったくあてはまらない

アンケート回収

90名

視点	目標	アンケート内容	評価 (%)			
			A	B	C	D
子どもの学習・生活	①	学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。	27.8	68.9	3.3	0.0
	①	学校は、読書（音読）やNIE（新聞学習）などを計画的に推進している。	31.1	64.4	4.4	0.0
	①	学校は、計画的に家庭学習を推進している。	28.9	63.3	6.7	1.1
	②	学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。	31.1	63.3	4.4	1.1
	②	学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心を持った子どもを育てている。	35.6	58.9	5.6	0.0
	②	学校は、人権学習・道徳学習をとおして、規範意識や思いやりの心を持った子どもを育てている。	35.6	58.9	4.4	1.1
	③	学校は、子どものまちがった言動や行動について指導していることを保護者に伝え、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	35.6	52.2	11.1	1.1
③	学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応していることを保護者に伝えている。	30.0	55.6	13.3	1.1	
家庭・地域との連携	④	学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。	25.6	64.4	8.9	1.1
	④	学校は、配布物やホームページをとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。	31.1	60.0	8.9	0.0
	⑤	校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。	33.3	61.1	5.6	0.0
	⑤	学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができている。	30.0	64.4	4.4	1.1
	⑤	学校は、各家庭や児童のプライバシーの保持ができている。	46.7	51.1	2.2	0.0
	⑥	授業参観の時期・回数は適切である。	44.4	47.8	6.7	1.1
	⑥	学校の掲示は、学習の取り組みがよく表れるよう工夫されている。	42.2	54.4	3.3	0.0
	⑥	学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。	38.9	52.2	7.8	1.1
⑥	学校が保護者等に出す文書・事務連絡は、適切である。	40.0	58.9	1.1	0.0	

# 令和5年度学校評価アンケート（教職員）結果

今年度学校重点目標		A	B	C	D
①	「基礎基本の徹底」と「確かな学力」の育成を図る	41.2%	51.8%	7.1%	0.0%
②	活力ある子どもに育てる	58.8%	39.7%	1.5%	0.0%
③	人間関係が築ける子どもに育てる	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%
④	「コミュニティ・スクール」「幼小中連携・一貫教育」を推進する	38.2%	61.8%	0.0%	0.0%
⑤	安全・安心・居心地のよい学校づくりを推進する	47.1%	51.0%	2.0%	0.0%
⑥	その他	54.4%	44.1%	1.5%	0.0%
⑦	研修	84.3%	15.7%	0.0%	0.0%

A・・・よくあてはまる

B・・・だいたいあてはまる

C・・・あまりあてはまらない

D・・・まったくあてはまらない

アンケート回収

17名

視点	目標	アンケート内容	評価 (%)			
			A	B	C	D
子どもの学習・生活	①	学校は、子どもの学力を向上させるため、工夫し熱心に指導している。	64.7	35.3	0.0	0.0
	①	スキルタイムは、計画的に運営され、効果的であると感じている。	35.3	52.9	11.8	0.0
	①	学校は、読書(音読)やNIE(新聞学習)などを計画的に推進している。	17.6	58.8	23.5	0.0
	①	学校は、計画的に家庭学習を推進している。	52.9	47.1	0.0	0.0
	①	支援を要する児童への対応が全職員の共通理解のもとで実践されている。	35.3	64.7	0.0	0.0
	②	学校は、全教育活動を通じて、規範意識や基本的な生活習慣の育成を実践している。	47.1	52.9	0.0	0.0
	②	学校は、校外学習や体験活動を効果的に取り入れ、豊かな心を持った子どもを育てている。	58.8	41.2	0.0	0.0
	②	学校は、計画的に体力向上に取り組んでいる。	47.1	47.1	5.9	0.0
	②	学校は、健康観察や健康診断の事後措置・疾病予防等とおして、心身の健康の保持・増進を図っている。	82.4	17.6	0.0	0.0
	③	学校は、全教育活動を通じて、子どもの自尊感情を高める人権教育を実践している。	52.9	47.1	0.0	0.0
	③	学校は、子どものまちがった言動を適切に指導し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	64.7	35.3	0.0	0.0
	③	学校は、子どもの悩みや相談を親身に受け止め、対応している。	76.5	23.5	0.0	0.0
	③	ふれあいメールの調査結果などを有効に生かし、積極的な生徒指導に努めている。	58.8	41.2	0.0	0.0
学習環境・家庭・地域との連携	④	学校は、子どもの学習のために、保護者・地域と連携した活動を計画・実施している。	41.2	58.8	0.0	0.0
	④	学校は、配布物やホームページをとおして、教育方針や学校の取組をわかりやすく伝えている。	35.3	64.7	0.0	0.0
	⑤	校舎内外は、整理整頓や修繕・危険表示が行き届き、清潔感のある安全な教育環境が保たれている。	35.3	64.7	0.0	0.0
	⑤	学校は、家庭・地域等と協力し、交通事故や不審者、災害等から児童を守る活動ができています。	52.9	41.2	5.9	0.0
	⑤	学校は、各家庭や児童のプライバシーの保持ができています。	52.9	47.1	0.0	0.0
	⑥	授業参観の時期・回数は適切である。	29.4	64.7	5.9	0.0
	⑥	学校の掲示は、学習の取り組みがよく表れるよう工夫されている。	58.8	41.2	0.0	0.0
	⑥	学校は、保護者が気軽に相談できるように努めている。	58.8	41.2	0.0	0.0
研修	⑦	学校が保護者等に出す文書・事務連絡は、適切である。	70.6	29.4	0.0	0.0
	⑦	全教職員が意欲的に学び、効果的で有意義な研修を実践している。	88.2	11.8	0.0	0.0
	⑦	コンプライアンス研修を通じ、教職公務員としての倫理観が確立した職員組織になっている。	82.4	17.6	0.0	0.0
		職員間の信頼関係が築かれ、協働し働きやすい職場環境になっている。	82.4	17.6	0.0	0.0

※教育活動についてお気づきのこと